

料金別納郵便



し ぽう —未来四眸—

酒井 清水 望月 吉田
博司 一二 集 幸央 陶展

令和2年11月12日(木)~18日(水) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日18日は午後5時まで)

【出品作家・在廊予定日】 酒井博司 11月13日(金)~18日(水)
清水一二 11月12日(木)、13日(金)、15日(日)
望月 集 11月12日(木)、15日(日)~18日(水)
吉田幸央 11月13日(金)~15日(日)

三人が今年、一人が来年、還暦を迎えられる。思えば三十有余年の方を筆頭に、長年御交誼に与った方ばかりである。各人各様に長年、日本工芸会の屋台骨を支えて来られた。それは、繁多な活動の中で自己の作品を常に外部の目に晒し熟成してきたと言うことでもある。

酒井氏の鉢の藍色志野という新機軸と、シンプルで美しいアウトライン。清水氏の吹泥の柔らかい面にピシッと性根を入れるような紅と金の線。望月氏の椿や梅花模様表現の装飾的成熟。吉田氏の、かつての金欄手九谷を遥かに越える、色彩のパステル調、形のシンプルな強靱さ。日本伝統陶芸の中枢を作り出す高質な表現である。

さて還暦を経てこの四眸は何を凝視(みつ)めていくのだろうか。これからももっともっとと楽しませてもらいたいものである。

金子賢治(茨城県陶芸美術館 館長)

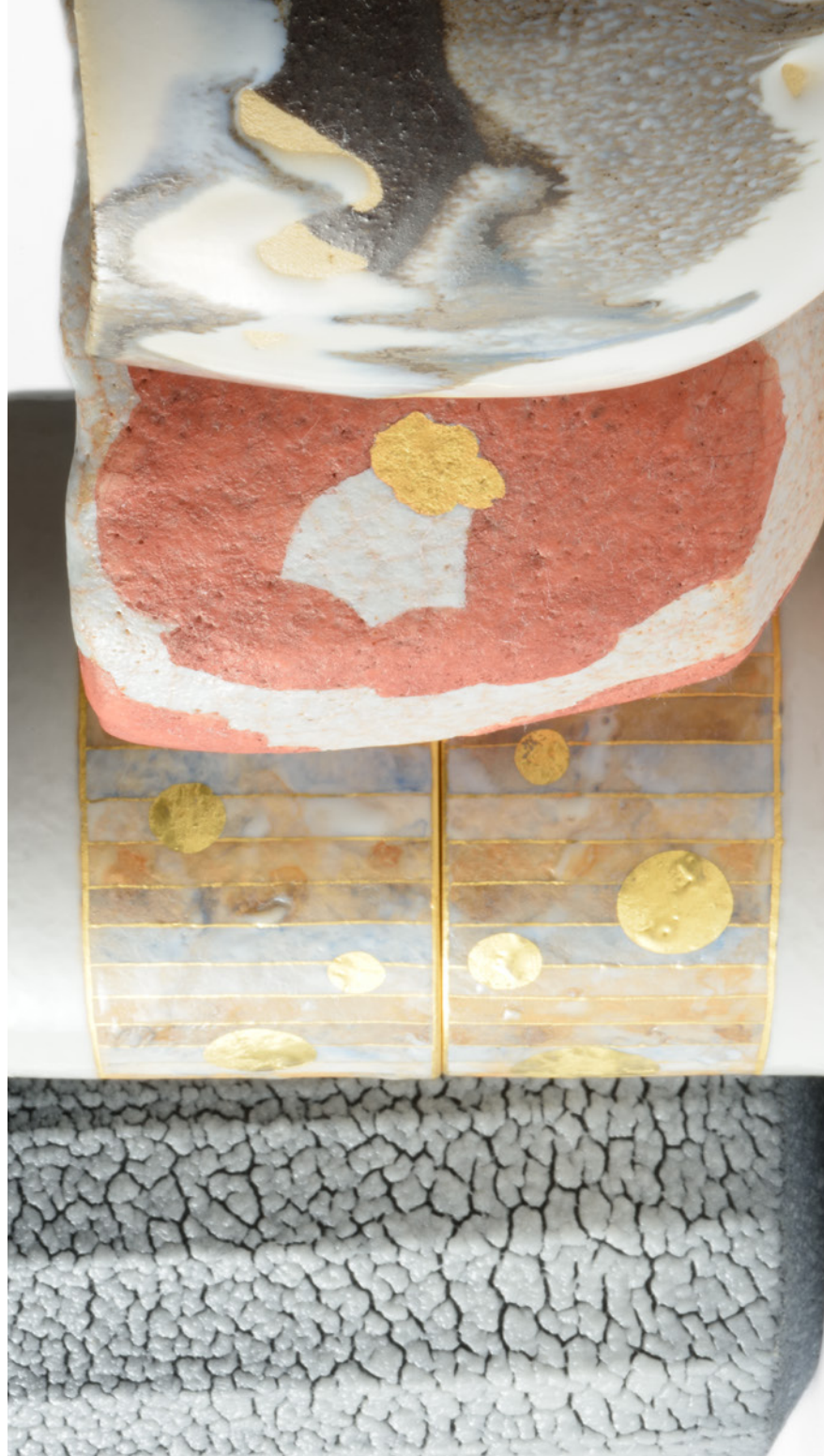
柿付ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com
https://www.kakiden.com/gallery/



コロナ禍の影響で、会期と営業時間の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊館ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。





酒井博司

Sakai Hiroshi

昭和 35 年 岐阜県土岐市生まれ
昭和 58 年 名古屋工業大学 卒業
昭和 60 年 多治見市意匠研究所 修了
加藤孝造氏に師事
平成 13 年 日本伝統工芸展 入選
平成 14 年 国際陶磁器展美濃 陶芸部門 銀賞
平成 12 年 現在形の陶芸・萩大賞展 岩国美術館賞
一水会陶芸部公募展 佳作賞
平成 25 年 東海伝統工芸展 三重県教育委員会賞
陶美展 日本陶芸美術協会賞 (最高賞)



清水一二

Shimizu Ichiji

昭和 36 年 丹波立杭 (現・丹波篠山市) 生まれ
平成 12 年 現代茶陶展 TOKI 織部銀賞
平成 15 年 日本伝統工芸展入選 (以後 16 回入選)
平成 16 年 珀耀窯を開窯
平成 19 年 現在形の陶芸・萩大賞展 準大賞
平成 21 年 日本陶芸展 茨城県陶芸美術館賞
伝統工芸陶芸部会展 日本工芸会賞
平成 26 年 現在形の陶芸・萩大賞展Ⅲ 優秀賞
令和 元年 田部美術館大賞・茶の湯の造形展 奨励賞



望月 集

Mochizuki Shu

昭和 35 年 東京都生まれ
昭和 59 年 東京中野に陶芸工房一閑設立 築窯
昭和 61 年 東京藝術大学 大学院 修士課程 修了
東京藝術大学 非常勤講師
(平成 5 年度まで)
平成 12 年 静岡・伊豆高原に第二工房設立 築窯
平成 22 年 伝統工芸陶芸部会展 日本工芸会賞
(同 平成 27 年、平成 30 年)
平成 26 年 陶美展 奨励賞 (同 平成 27 年)
令和 元年 日本伝統工芸展 日本工芸会総裁賞



吉田幸央

Yoshita Yukio

昭和 35 年 石川県小松市生まれ
昭和 57 年 金沢美術工芸大学 卒業
平成 4 年 伝統九谷焼工芸展 大賞
平成 6 年 高岡クラフト展 金賞
平成 11 年 陶芸ビエンナーレ'99 特別賞
平成 12 年 現代茶陶展 TOKI 織部 銀賞
平成 21 年 伝統九谷焼陶芸展 大賞
平成 22 年 日本伝統工芸展 高松宮記念賞
平成 26 年 MOA 岡田茂吉賞展 (熱海市 MOA 美術館)

